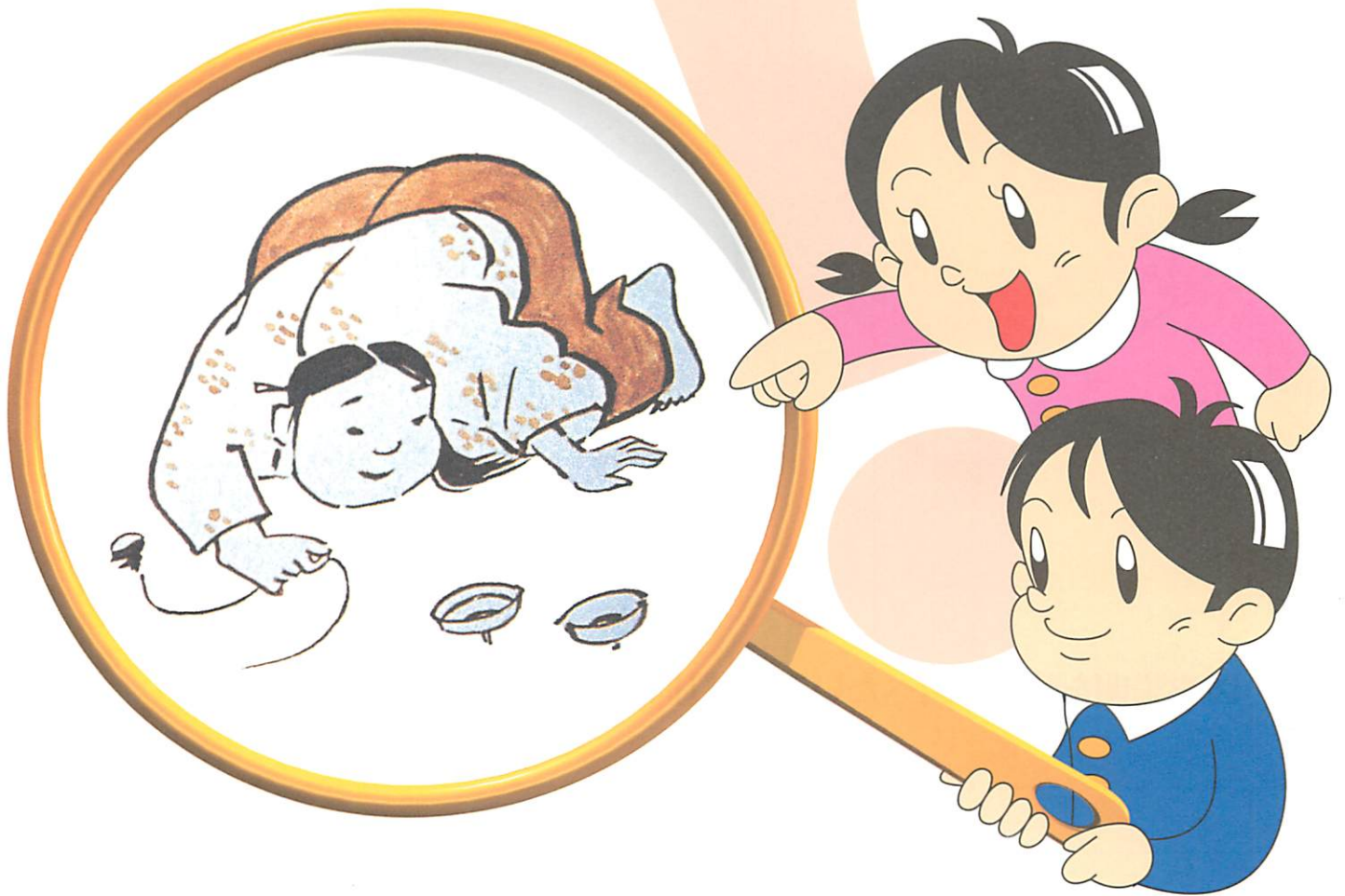


はくぶつかん

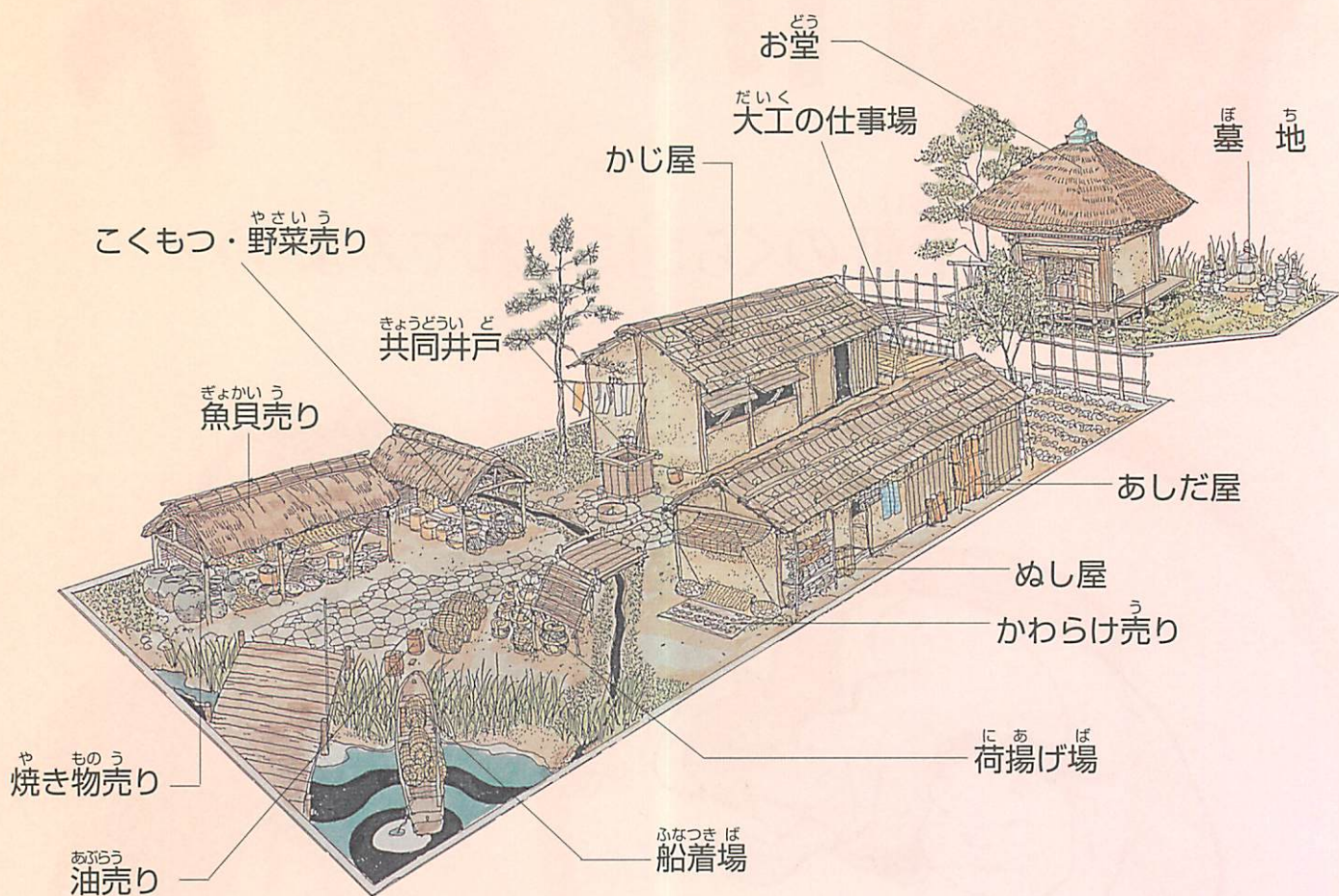
たんけんハート

くさどせんげん  
《草戸千軒のくらしにふれてみよう》



ひろしまけんりつれきしはくぶつかん  
広島県立歴史博物館

くさどせんげんじつぶつだいふくげんす  
**草戸千軒実物大復原図**



ふくげん せつめい じつもん  
復原の図や説明を読んで調べたいことや質問したいことを書きましょう。

---

---

---

---

---

---

---

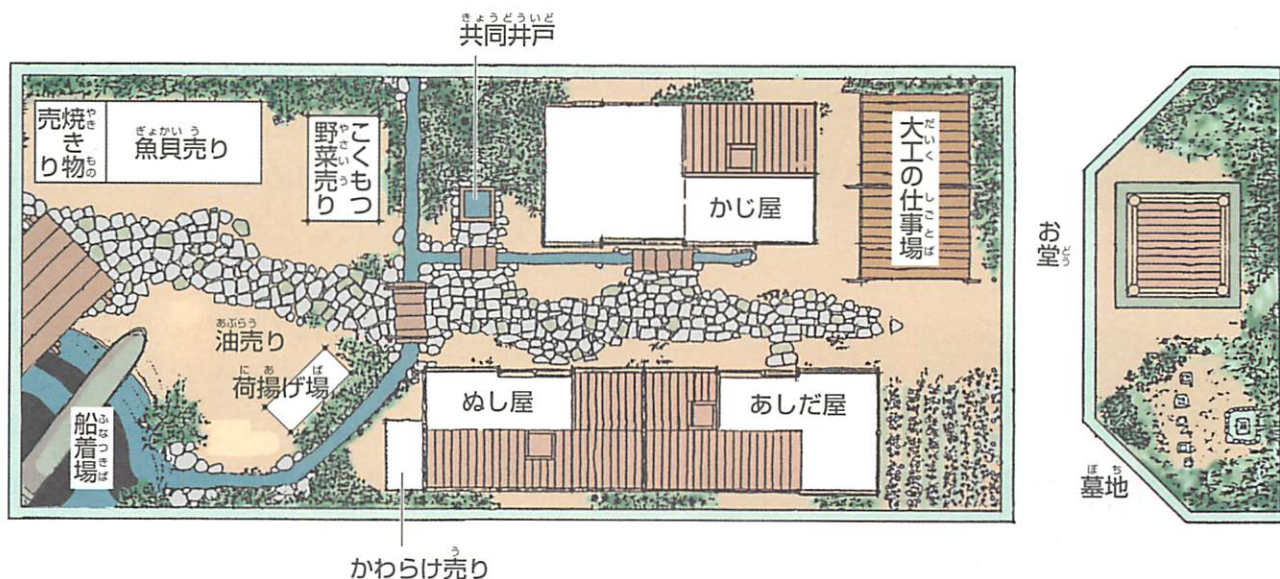
---



くさどせんげん ふくげん  
**草戸千軒の復原を上から見たところ**

展示  
コーナー

たくわ 貯える	た炊く	た食べる	とも 灯す	あたた 暖める	か書く	よそお 装う	は履く	まちなみもけい 町並模型
------------	-----	------	----------	------------	-----	-----------	-----	-----------------



展示  
コーナー

すな 漁る (漁業)	たかや 耕す	あきな 商う	つくる						あそ 遊ぶ	いの 祈る	
			さまざま な細工	かわらけ づくり	あしだ 足駄 づくり	ぬ 塗師	か 鍛治	ばん 番匠 (大工)		まし ない	しん 信 仰

見学して気づいたことや感じたことを書きましょう。

---



---



---



---

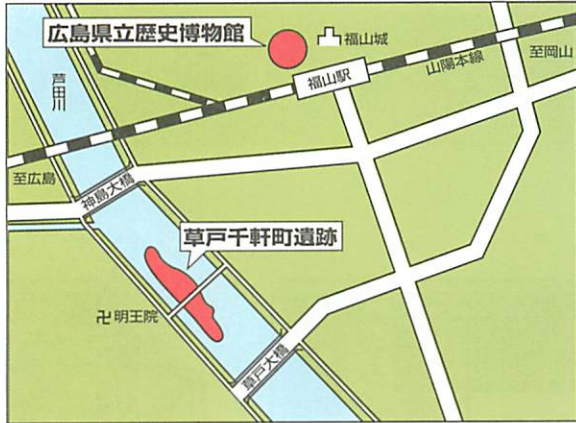


---



---

くさど せんげんちやうい せき  
草戸千軒町遺跡とは……



草戸千軒町遺跡は、中世に、港町・市場町としてにぎわった町の人々のくらしのあとです。

江戸時代の中ごろ(約200年前)に書かれた『備陽六郡誌』という書物に1673(寛文13)年の大水で草戸千軒という町のあった所が水害によって流されたと書かれてあり、古い町があったといういつたえがありました。

しかし、長い間、福山市を流れている芦田川の川底にうもれていたために、くわしいことはわかりませんでした。1961(昭和36)年から、約30年間掘って調べた結果、草戸千軒の町のようにすがわかってきました。また、13世紀の中ごろ(鎌倉時代)からにぎわっていた町も16世紀の初めごろ(室町時代)には、もとの姿は失われていたことなどもわかりました。

くさど せんげん てんじしつ  
草戸千軒Ⅰ展示室  
～よみがえる草戸千軒～



くさど せんげん まちなみ もじい  
草戸千軒の町並模型

芦田川の川底にうもれていた草戸千軒の町を掘り起こして、わかったことをもとに復原しました。

展示室に入ると、港に着いた船から荷あげをしているところや、市場のようすがわかります。石を敷いた道路の両側には、いろいろな物をつくる人たちの家が並んでいます。

この展示室では、塗師屋(ぬしや) (漆をぬる人)、足駄屋(あしだや) (下駄をつくる人)、鍛冶屋(かじや) (農具などをつくる人)の仕事場や住まいがつくられ、お堂をなおす大工の仕事場があり、町の人々のくらしがわかるようになっています。

また、掘り出されたものには、暖めるために使っていたものや食器などの生活に使った道具・生産に使った道具・店で使われたものなどがあり、生き生きとくらししたようすをわたしたちにかたりかけています。

町の人々の会話やせみの声が聞こえてくるでしょうか。展示を見ながら、たんけんノートの問題に答えましょう。



遊ぶこどもたち



## 1.中世の港町

草戸千軒は、港町であるということがわかりました。

問1 船でどんなものが運ばれていましたか。

( )

問2 いろいろな焼き物は、どこから運ばれて来たかわかりますか。《貯える・商うコーナーを見ましょう。》

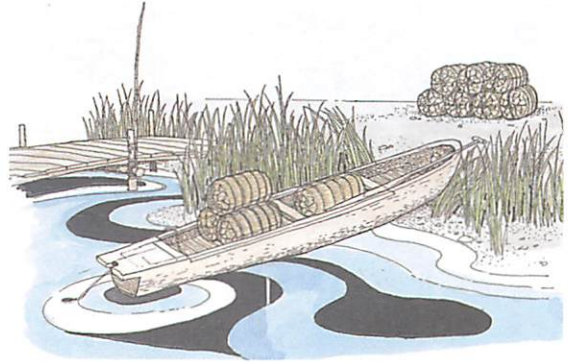
( )

●港のことで気づいたことを書きましょう。

---

---

---



ふなつきば  
船着場

## 2.中世の市場

船がついたばかりの船着場近くには市場がつくられ、そこではいろいろな品物が売られています。

市場で売られている品物について答えましょう。

問3 田や畑でとれたもので、どんなものが売られていますか。

① \_\_\_\_\_ ② \_\_\_\_\_

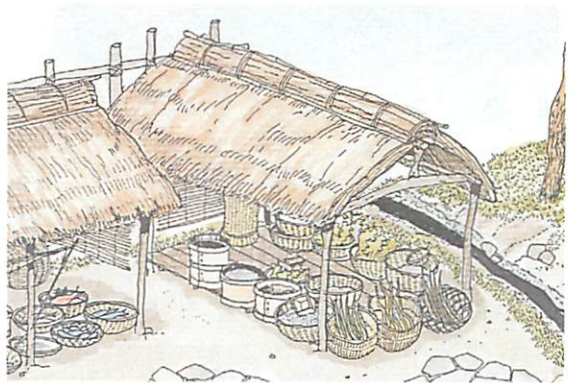
③ \_\_\_\_\_ ④ \_\_\_\_\_

⑤ \_\_\_\_\_ ⑥ \_\_\_\_\_

⑦ \_\_\_\_\_ ⑧ \_\_\_\_\_

問4 焼き物ではどんなものが売られていますか。

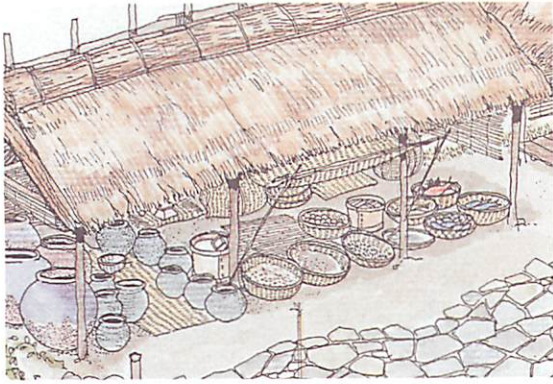
( )



やさいう  
野菜売り



やものう  
焼き物売り



ぎょかいう  
魚貝売り

問5 海や川でとれたものは、どんなものが売られていますか。

- |         |         |
|---------|---------|
| ① _____ | ② _____ |
| ③ _____ | ④ _____ |
| ⑤ _____ | ⑥ _____ |
| ⑦ _____ | ⑧ _____ |

問6 写真は、<sup>まげもの</sup>曲物といわれているものです。<sup>うす</sup>薄い板に切れ目を入れて曲げ、<sup>さくら</sup>桜の皮でとめたものです。中に入れてある白いものは、何でしょうか。

( )

●市場のことで気づいたことを書きましょう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

### 3.中世の仕事

農業では<sup>ひりょう</sup>肥料を使い、<sup>にもうさく</sup>二毛作も行なわれました。また、漁業でもいろいろな工夫をしています。

(1) 農業や漁業に使われていた道具にもいろいろありました。

《<sup>たがや</sup>耕す・<sup>すなど</sup>漁るのコーナーを見ましょう。》

問7 鉄を使った道具には、どんなものがありますか。

( )

問8 鉄の道具を使うと、どんな良さがありますか。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_



牛を使って農業をしているところ



問9 漁業では、どんな道具を使っていますか。

( )

●今ごろのつり針と比べて、気づいたことがあれば書きましょう。

---

---

---



つり針

(2) 草戸千軒がにぎわったところは、ものをつくる人もこまかく分かれて仕事をしていました。

問10 どんな人の家が建てられていますか。

( )

問11 家を建てる道具には、どんなものがありますか。《作るコーナーを見ましょう。》

( )

●仕事のことで、気づいたことを書きましょう。

---

---

---



うるしをぬる仕事

## 4.中世の人々の暮らし

草戸千軒の人々が使っていた日用品を見ると、私たちが使っているものと同じようなものがあり、ほとんど見られなくなったものもあります。

(1) 身だしなみを、ととのえるための道具もありました。

問12 今と変わらないものには、どんなものがありますか。

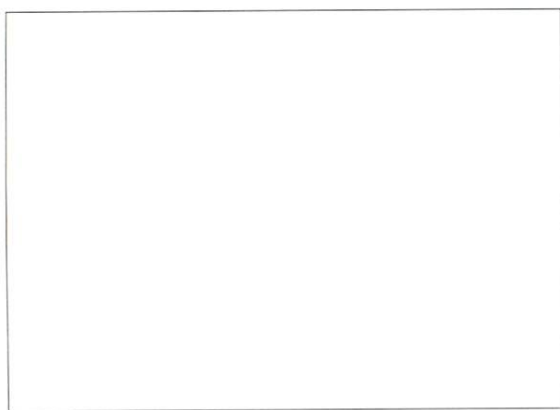
( )



くさどせんげん まちなみもけい  
草戸千軒の町並模型



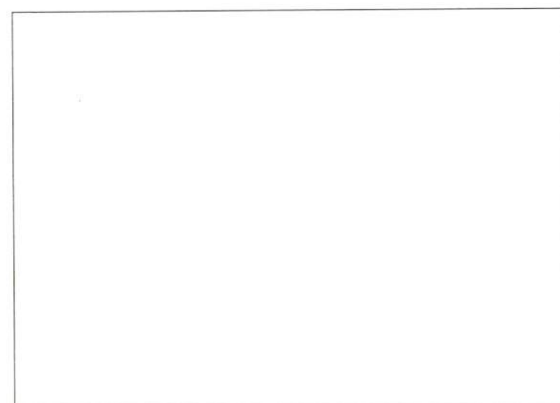
ひうち  
火打がま



※明りの道具をスケッチしてみましよう。



ちょうり  
調理のようす



※料理の道具をスケッチしてみましよう。

問13 今はあまり使われていないはきものには、どんなものがありますか。

( )

●毎日の生活に使う品物で、気づいたことがあれば書きましよう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(2) 明かりにも、いろいろなものがあります。

問14 町の人たちは、どのようにして部屋の中を明るくしていたのでしょうか。建物の中で明りの道具と思われるものをスケッチましよう。

《どの建物にも同じものがあります。》

(3) 遊びについて調べてましよう。

問15 生活を楽しむためにいろいろな道具が使われました。遊び道具には、どんなものがありますか。

( )

●くらしのようすで気づいたことを書きましよう。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

(4) 町の人びとの食事も、今と変わらないものがたくさんあります。

料理に使われていた道具には、どんなものがあるか、調べてましよう。名前がわからなければスケッチましよう。

( )



問16 写真は、何をするときに使われていたものでしょうか。焼き物の内側のギザギザもようがヒントです。《炊くのコーナーにもあります。》

( )



問17 炉のまわりには、夕食のしたくがされています。それぞれ、どのような食べ物があるか調べてみましょう。

I 塗師屋の食事

①



③

④

②

⑤

II 足駄屋の食事

①



③

②

④

III 鍛冶屋の食事

①



④

②

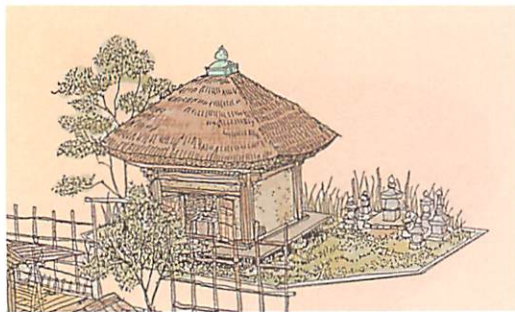
⑤

③

⑥

●食事のことで気づいたことを書きましょう。

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_



おど堂



じぞうぼさつざそう  
地蔵菩薩坐像

## いの 5. 祈りとまじない

石を敷いた道路を通りぬけると(柵で囲まれた町を出たところ)お堂があります。屋根の北側は、いたみが目立ちます。お堂の前に大工の仕事をしつづけて、修理をしているところです。お堂の中に地蔵菩薩坐像があります。

問18 お堂を建てたのはなぜですか。

問19 祈りやまじないには、どんなものが使われたか。名前がわからなければスケッチしましょう。《祈るのコーナーを見ましょう。》

問20 何を祈っていたのでしょうか。

●お堂やまじないのことで、気づいたことを書きましょう。

## 6. 展示室を見て

●不思議だと思ったことやおどろいたことを書きましょう。

●もっと調べて見たいことを書きましょう。





...안그말...



유미노라



にあば  
荷揚げ場



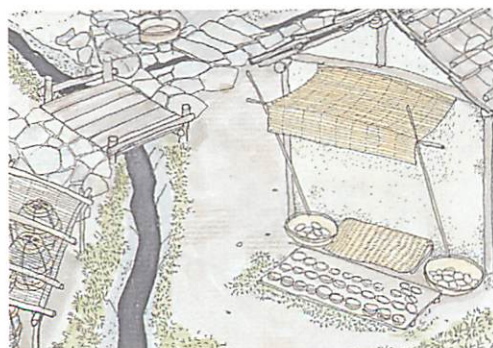
びぜん とこなめ  
備前・常滑



白米 赤米



野菜売り場



かわらけ売り

問1 かめ、つぼなどの焼き物やお米など

- ※ 運ばれたものには、わかめ・塩・油・お金などもあり、ほかのコーナーで見られます。

問2 焼き物は備前 常滑 龜山 瀬戸  
ほかに、朝鮮 中国 ベトナムなどの国々からも運ばれてきました。

- ※ 兵庫北関入船納帳（1445年に税をいくらおさめたかを書いたもの）には、兵庫北関（現在の神戸市長田区和田岬近く）を通行する船が入った月日・どこからの舟か・品物名などが細かく書かれています。  
その中には、麦・大豆・小豆・米・赤米・鯛・鱈・鯛・なまこ・海老・塩・むしろ・壺などの品物の名が見られます。

問3 やまいも 赤米 大豆 かぶ 麦 小豆 ごぼう さといも みつば ねぎ うめ

- ※ 草戸千軒で食べられた植物には、米・麦・小豆・胡麻・茄子・桃・梅・梨・蜜柑・栗・葡萄などがあります。  
室町時代に食べていた赤米は、赤色系色素が入っている米です。今では、神社のお祭りなどに使われるぐらいです。

問4 つぼ おおがめ おろしざら さら わん

- ※ いろいろな壺は油や調味料などを入れ、大瓶は水や穀物を入れるために使います。



問5 あさり わかめ たい すずき いわし 干しい  
わし 干しあわび 干しなまこ しじみ

※ 草戸千軒で食べられていた魚は、真鯛・黒鯛・鱸・  
鮪など、動物は、牛・馬・鹿・兎・猪など、貝は、蛤・  
あさり・蜆です。遺跡からはこれらの骨や貝がらがほ  
り出されています。

なまこのことを、古くは、「こ」と呼んでいました。  
生のものが「なまこ」、火でいったものが「いりこ」、  
日に干したものが「ほしこ」と言っていました。



魚貝売り場



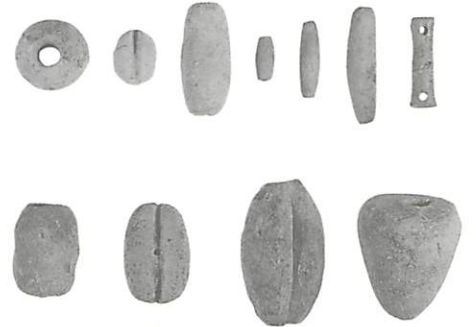
たい



干しなまこ

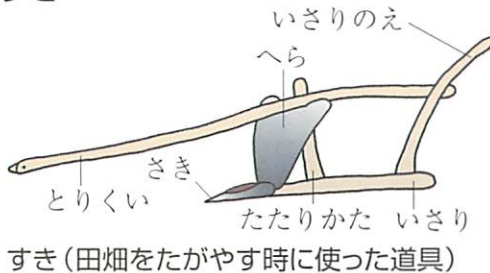
問6 塩

※ 物売り小屋の中では、山鳥・むしろ・わらじも売ら  
れています。また、小屋の前の空き地では、油や素焼  
きの土器（かわらけ）も売られています。



あみ  
網につけるおもり

問7 かま すき



すき(田畑をたがやす時に使った道具)

問8 深くほることができ、耕すのも楽になる。

問9 つり針 浮き 土錘(おもり)

問10 かじ屋 ぬし屋 あしだ屋

問11 のみ のこ きり ちょうな なた 木づち

問12 くし 紅皿 毛ぬき 銅鏡(かがみ) など



大工の仕事場



なたやかまを使っているところ



大工道具

問13 ぞうり げた わらじ

問14 火きり板, 火きり棒, 火打がま, などで火をおこし, その火を灯明皿に移す。

問15 羽子板 <sup>はごいた</sup> さいころ こま ぎっちょう

問16 <sup>だいこん</sup> 大根や, やまいもなどをすりおろす。

問17  
I <sup>ぬしや</sup> 塗師屋の食事

① そうめんと白ネギ

② 麦と米をまぜたごはん



③ <sup>こうやどうふ</sup> 高野豆腐

④ ふきのおひたし

⑤ にらとわかめのすまし汁  
(塩 しょう油を使ったうす味の汁)

※ <sup>ぬしや</sup> 塗師屋の食事は, <sup>しやうじんりやうり</sup> 精進料理となっています。(肉や魚を使わない料理)

II <sup>あしだや</sup> 足駄屋の食事

① <sup>いも</sup> 芋づるとささげの塩づけ

② 麦と米をまぜたごはん



③ はぜを焼いたもの

④ しじみとせりのすまし汁

※ <sup>あしだや</sup> 足駄屋の食事は, ふつうの日の献立になっています。

III <sup>かじや</sup> 鍛冶屋の食事

① <sup>しおや</sup> たいの塩焼き

② 米のごはん

③ しょうがをおろしたもの



④ <sup>いも</sup> こんぶ ごぼう 芋づるのにしめ

⑤ たこのまなす (みそだれ付き)

⑥ はまぐりとみつぼのすまし汁

※ <sup>かじや</sup> 鍛冶屋の食事は, めでたい日の食事となっています。  
室町時代の終わり頃 (約500年前) には, 一日に3度の食事をするならわしがかなり広まっていたようです。祝い箸のように両端を削った箸などが並べてあります。



※ 調理に使われた道具

《塗師屋》大甕 移動式のかまど 鍋 包丁 まな板  
 製鉄の五徳三足付 杓子 鍋つかみ いろいろな壺  
 すり鉢 曲物 おろし皿 ざるなど  
 《足駄屋》大甕 いろいろな壺 鍋しき 移動式のか  
 まど 鍋 包丁 折敷のまな板 曲物 すり鉢 ざる  
 鍋つかみなど  
 《鍛冶屋》そなえつけのかまど 鍋 鍋つかみ ざる  
 すり鉢 大甕 曲物 まな板 庖丁 壺など



移動式かまど

問18 病気をしない 暮らしがよくなる 仕事が  
 思いどおりにできる。豊作などを祈った。

問19 ちの輪 刀形 呪符 人形  
 遊ぶのコーナーの舟形も、まじないにも使われた  
 可能性があります。



ちの輪



舟形



呪符



人形



人形

問20 病気や災害から暮らしを守ってほしい。

※ お堂の横にある墓地には、墓石が建てられています。  
 6つの五輪塔のほか、宝篋印塔と呼ばれるものもありま  
 す。

石で作られたこれらの塔の後には板の塔婆も見られ  
 ます。五輪塔は平安時代、宝篋印塔は鎌倉時代から作  
 られはじめたといわれています。



墓地



ぬしや

たんけんした日 年 月 日

学校名

名前

広島県立歴史博物館

広島県福山市西町2-4-1

☎ 084 (931) 2513 FAX.084 (931) 2514